

令和元年度 第2回 上越市スポーツ推進審議会 次第

日 時 令和元年10月17日(木) 午後2時から
会 場 市民プラザ2階第3会議室

1 開 会

2 あいさつ 上越市スポーツ推進審議会委員長 土田 了輔

3 報告事項

- (1) 令和元年度スポーツ関連事業の実施状況について(中間)
- (2) 上越市立上越体操場の整備・進捗状況について
- (3) 新潟県立武道館新築工事の進捗状況について
- (4) 令和元年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業の取組状況について
- (5) 上越市第2次総合教育プラン「後期実施計画」(案)について

4 議 題

- (1) 令和2年度予算の考え方について

5 そ の 他

6 閉 会

<配布資料>

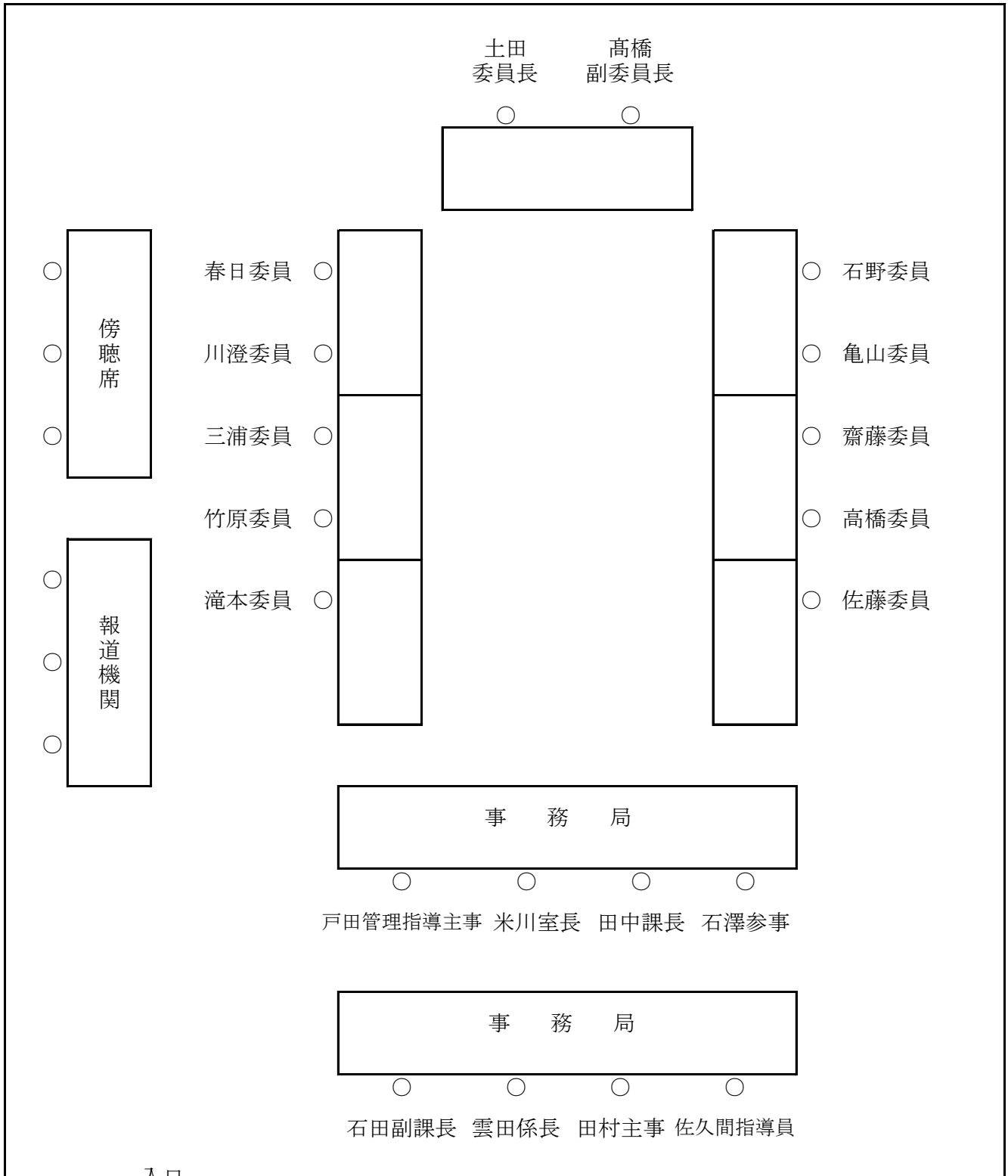
- ・次第、名簿、座席表
- ・資料1 令和元年度スポーツ関連事業の実施状況について(中間)
- ・資料2 上越市立上越体操場の整備・進捗状況について
- ・資料3 新潟県立武道館新築工事の進捗状況について
- ・資料4 令和元年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業の取組状況について
- ・資料5 上越市第2次総合教育プラン「後期実施計画」(案)について
- ・資料6 令和2年度予算の考え方について

令和元年度 第2回上越市スポーツ推進審議会委員

No.	氏 名	団 体 等	第3条 第2項
1	土田 了輔	国立大学法人上越教育大学(教授)	(1)
2	長谷川 雅一	高等学校体育連盟(高田高等学校長)	(2)
3	石野 秋広	中学校長会(三和中学校長)	(2)
4	亀山 浩	小学校長会(春日新田小学校長)	(2)
5	齋藤 隆雄	上越市空手道連盟(理事長)	(3)
6	高橋 達也	上越市スキー協議会(副会長)	(3)
7	佐藤 一徳	上越市体操協会(理事長)	(3)
8	和栗 勝美	上越市スポーツ推進委員会(副会長)	(4)
9	春日 清美	上越市レクリエーション協会(会長)	(4)
10	滝本 篤透	総合型地域スポーツクラブ (NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブマネージャー)	(4)
11	高橋 正弘	一般財団法人上越市スポーツ協会(事務局長)	(4)
12	川澄 陽子	上越市身体障害者福祉協会(会長)	(4)
13	三浦 元二	上越市運動普及推進委員協議会(副会長)	(6)
14	竹原 貞勝	上越市柔道連盟(顧問)	(6)
15	竹内 昭彦	総合型地域スポーツクラブ (さとまるスポーツクラブ)	(6)

第2回 スポーツ推進審議会 席次表

市民プラザ
2階 第3会議室



廊下側

基本施策 7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策 1 生涯スポーツ活動の充実

□ 目標

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等を中心として地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

□ 成果指標と達成状況

評価内容	令和元年度	達成状況 (9月末時点)
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口 〈現状値：H27〉 89.9%	90%以上にする。	56%
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数 〈現状値：H27〉 25,428人	26,300人以上にする。	27,358人

目標を達成するための事業等 (※実績は9月末時点)

(1) スポーツ活動の普及推進

① スポーツ推進委員の活動促進

- ・ 小学校の課外活動等でのニュースポーツ…39回、延べ3,118人参加
- ・ 地域での健康体操や市民エクササイズを指導…11回、延べ548人参加
- ・ 市民向けの体力測定会の運営補助（反復横跳び、上体おこし等）…4会場で開催、延べ96人参加

② 子どもの健康・体力づくり運動の開催

- ・ 上越教育大学から専門指導者を招聘し、子供の健康・体力づくり運動に携わる指導者を養成するための講習会と、親子を対象とした運動教室を開催…2回、指導者37人、親子66組133人参加
- ・ 生涯スポーツ指導員が保育園や小学校に出向き、体力づくり運動を指導…17回、953人参加
- ・ これまでの指導者養成講習会や親子運動教室の内容や研究・成果をまとめ、より多くの市民に幼少期からの健康と体力づくりに取り組んでもらえるよう「(仮称)運動遊びプログラム」の策定に着手(1月末完成予定)

③ スポーツ少年団等の活動支援

- ・ 市スポーツ少年団による青少年の育成活動を支援(自主事業、交流会、地区大会、県大会の主管事業に係る経費を補助)…交付率100%
- ・ 競技の特殊性から民間施設を借り上げて活動しているアクティブスポーツ団体を支援…交付率100%

④ 障害者スポーツ・生涯スポーツ体験イベントの開催準備

- ・ 誰もが楽しく体を動かせるニュースポーツを通し、参加者同士の交流を深めながら、障がい者スポーツや生涯スポーツの理解促進に向けて、上越市スポーツ推進委員会、上越市レクリエーション協会、上越市身体障害者連絡協議会の3団体が連携し、ニュースポーツ体験交流会の開催を準備中(11月9日開催予定)

(2) 市スポーツ協会、各種スポーツ団体への支援

① スポーツ大会・教室等の開催及び支援

- ・ 高田城ロードレース大会(6月2日開催、参加者数2,507人)…交付率100%
- ・ ビーチバレーボール大会(7月21日開催、参加者数206人)…交付率100%
- ・ ビーチラグビー大会(8月24日、25日開催、参加者数200人)…交付率100%
- ・ 新潟県駅伝競走大会(10月20日開催予定)…交付率100%
- ・ 上越市民体育祭(9月から12月中旬まで競技ごとに随時開催中)…交付率100%
- ・ 居多まつり武道大会(8月20日開催、参加者数200人)…交付率100%
- ・ 市スポーツ協会加盟団体による計画的・継続的な教室の開催を支援…交付率92%

② えちご・くびき野100kmマラソンの開催

- ・ 令和2年10月開催に向けた準備を行っている(全国から2,500人を超えるランナーが参加するマラソン大会であり、市街地から中山間地域までの市域全体を100km・60kmのコース設定で、2年に1度開催)…交付率50%

③ 上越市スポーツ協会への支援

- ・ 市のスポーツ振興の中核組織として安定した活動を持続可能にするための運営費を補助…交付率49%

(3) 総合型地域スポーツクラブの育成及び支援

① 総合型地域スポーツクラブの育成(研修会の開催)

- ・ 「総合型地域スポーツクラブ研修会」…上越教育大学から講師を招聘し、発達障害等の個性を理解し、個性に合わせたスポーツとの関わり方や指導方法に関する講義を実施(9月8日開催(午前の部)、参加者数28人)
- ・ 「総合型地域スポーツクラブ上越地区研修」…一般財団法人日本ボッチャ協会普及指導員を講師に招聘し、ボッチャサポーター養成講習会を上越SCネット(頸城・大潟・柿崎・三和のスポーツクラブから成る連絡協議会)と協働して開催(9月8日開催(午後の部)、参加者数32人)

② 総合型地域スポーツクラブの実態把握

- ・ 各地域のスポーツ活動の現状を把握し、実情に即した支援の在り方を検討するため、和元年8月2日(火)から8月9日(金)に実施
(主な意見)
 - ▶ 地域の団体と連携がうまくいかず、互いに活動内容が重複している
 - ▶ 人材不足や財源不足、世代交代等が進まずクラブ自体が弱体化してきている

基本施策 7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策 2 競技スポーツの発展

□ 目標

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

□ 成果指標と達成状況

評価内容	令和元年度	達成状況（9月末時点）
中高生の北信越大会の出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 162人 1.42%	出場者数 155人 出場率 1.4%以上にする。	出場者数 234人 出場率 2.2%
小・中高生の全国大会出場者数及び出場率 〈現状値：H27〉 129人 0.59%	出場者数 120人 出場率 0.55%以上にする。	出場者数 117人 出場率 0.57%
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数 〈現状値：H27〉 97人	103人以上にする。	延べ出場者数 104人

目標を達成するための事業等（※実績は9月末時点）

(1) スポーツ競技力の向上及びアスリート育成強化事業の推進

① ジュニアトップアスリート育成強化補助金

- 市スポーツ協会のジュニアトップアスリート育成強化指定競技（体操、バレーボール、野球、陸上、山岳、スキー）において、全国・世界で活躍できるトップアスリートを育成するために、市スポーツ協会及び学校関係者等と連携をしながら、年齢や学校枠を超えた一貫指導体制を整備することを通して、ジュニア選手の育成強化を行うための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（育成強化委員会の開催、指導者等の配置、練習会・競技会への参加）
… 交付率 70%

② 地域ジュニアスポーツクラブ育成事業補助金（県）

- 県の指定競技（空手道）において、全国・世界で活躍できるトップアスリートを育成するために、市スポーツ協会及び学校関係者等と連携をしながら、年齢や学校枠を超えた一貫指導体制を整備することを通して、ジュニア選手の育成強化を行うための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（育成強化委員会の開催、指導者等の配置、練習会・競技会の参加）
… 交付率 100%

③ スポーツアスリート育成強化事業補助金

- 上越市を拠点にして活躍できるアスリートを育成・支援するための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（指導者の招請、強化試合、全国大会への参加）
… 交付率 76%

④ ジュニアスポーツクラブ補助金

- ジュニア層のスポーツ教室や選手強化等を計画的に実施し底辺拡大を図るための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（各種強化活動、教室、大会への参加）
… 交付率 92%

⑤ スポーツ活動サポート事業

- 小学校：陸上競技、水泳、ミニバスケットボール、ダンス、カヌーなどの課外活動に外部指導者を派遣 …延べ 173回
- 中学校：バレーボール、サッカー、野球、陸上競技、剣道などの部活動に外部指導者を派遣…延べ 291回

⑥ スポーツ振興奨励金

- 国際大会や全国大会などに出場する優秀な選手等に対して、奨励金を交付し、選手等を奨励するとともに、市民のスポーツに対する意識の高揚を促進し、スポーツ活動の振興を図る。
…交付件数 135件

⑦ 国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会上越市出場選手壮行会の開催

- 国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会に出場する選手を激励するとともに、市民のスポーツ活動に対する機運の醸成を図る。
…9月26日開催（出場選手総勢 15人）

(2) ジュニア選手層の指導を中心とした指導者養成の推進

① 上越市スポーツ指導者養成事業補助金

- 指導者を対象とした講習会を実施し、資質及び技術向上を図るとともに、模範となる優秀選手や指導者を顕彰し、スポーツに対する市民意識の高揚を促進するための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（各種会議・講習会の開催等）
…交付率 100%

② 日本体育大学連携事業

- 平成27年度に市と日本体育大学が締結した「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づき、日本体育大学から指導者を招き、バレーボールと陸上競技の2種目の練習会及び指導者クリニックを開催した。
…バレーボール：7月7日開催、参加者数は中学生 72人、高校生 78人及び指導者 30人、陸上競技：7月28日開催、参加者数は中学生 132人及び指導者 19人

施策 3 スポーツ環境の整備

□ 目標

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、安全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

□ 成果指標と達成状況

評価内容	令和元年度	達成状況 (9月末)
体育施設(体育館)の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27平均〉 22,951人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	15,707人/施設
体育施設(野球場)の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27平均〉 7,826人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	6,099人/施設
体育施設(多目的広場)の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27平均〉 5,958人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	4,158人/施設
体育施設(テニスコート)の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27平均〉 6,370人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	3,390人/施設

目標を達成するための事業等 (※実績は9月末時点)

(1) 体育施設の安全性や快適性の確保

施設名	実施内容	実績
上越勤労身体障害者体育館	多目的トイレ改修工事	令和元年12月4日(完了予定)
上越総合運動公園テニスコート	テニスコート人工芝張替工事	令和元年12月10日(完了予定)
高田公園野球場	グラウンド内野整備工事	令和元年9月13日(完了)
清里スポーツ公園グラウンド	防球ネット設置工事	令和元年9月6日(完了)
三和体育館	駐車場舗装修繕工事	令和元年11月19日(完了予定)
上越体操場	アリーナ工事	令和元年11月30日(完了予定)
大瀧運動場	トイレ解体撤去工事	令和元年7月8日(完了)
清里スポーツセンター	駐車場舗装修繕工事	令和元年9月18日(完了)
高田公園第3庭球場	照明設備修繕工事	令和元年9月13日(完了)
浦川原体育館	駐車場安全策設置工事	令和元年9月3日(完了)
陸上競技場	西側スタンド土止め工事	令和元年11月29日(完了予定)
高田スポーツセンター	競技場照明修繕工事	令和元年10月31日(完了予定)
柿崎総合体育館	吸収式冷温水器水漏れ修繕工事	令和元年7月11日(完了)
オールシーズンプール	非常照明器具取替修繕工事	令和元年7月24日(完了)

(2) 体育施設の指定管理の状況

施設名	管理者	期間	自主事業
上越市総合体育館、上越勤労身体障害者体育館、スポーツ公園(野球場、多目的運動広場、庭球場)、上越市藤野野球場、上越市びょうぶ谷野球場、上越市庭球コート、上越市少年野球場、上越市春日山ペタンク場、上越市高田スポーツセンター、高田公園(弓道場、陸上競技場、野球場、庭球場)、上越市今泉スポーツ広場(野球場、多目的広場)、上越総合運動公園(テニスコート)、上越市教育プラザ体育館	一般財団法人 スポーツ協会	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	健康体操教室、ヨガ教室、ランニング教室、各種スポーツ大会の開催
上越市柿崎総合体育館、柿崎総合運動公園(野球場、グラウンド、人工芝グラウンド)、上越市柿崎屋内水泳プール	新東産業 株式会社	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	さわやかフィットネス教室、いきいき健康体操&ストレッチ教室、男性のための体操教室、トランポックス教室、初心者ジョギング講座、ドーム杯スポレック大会、ドーム杯硬式テニス大会、幼児・児童水泳教室
オールシーズンプール	株式会社 新潟ビルサービス	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	水泳教室(短期含む)、上越ASP水泳競技大会、親子水遊び体験教室、わんぱく水遊び天国、新春初泳ぎレクリエーション、一日体験教室、スイムスキルアップ教室

※その他市直営施設：41施設

(3) 体育施設の適正配置の方向性

施設名	施設区分	計画
安塚和田スポーツ公園グラウンド	照明設備	令和2年3月31日 廃止予定
大島中学校屋外運動場照明設備		
板倉運動広場		
三和中学校屋外運動場		
中郷総合運動公園庭球コート	テニスコート	

上越市立上越体操場の整備、進捗状況について

1 (仮称) 上越市体操アリーナ新築工事の進捗状況について

工種		年月		平成 30 年						平成 31 年・令和元年						
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
仮設工事・準備工事										外部足場設置						
杭工事																
基礎工事																
外部工事	鉄骨・屋根工事															
	外装工事															
	内装工事															
外構工事																

- ・10 月末には内装工事が完了する見込みであり、その後、外構工事等を行い、契約工期（11 月 30 日）での工事完了に向けて進んでいる。
- ・竣工検査を行い、引渡しを受けた後、体操器具等の備品を搬入する予定としている。
- ・工事現場の近況写真（令和元年 9 月 30 日現在）



2 上越市立体操施設条例の制定について

(1) 条例制定について

新たな体操施設である（仮称）上越市体操アリーナの名称を「上越市立上越体操場」とし、既存の上越市大潟体操アリーナの名称を「上越市立大潟体操アリーナ」と改めた上で、両施設を体操施設として位置付け、令和 2 年 1 月 26 日から一体的に供用を開始するため、「上越市立体操施設条例」を制定した。

(2) 施設使用料等について

① 施設使用料

施設名		占用使用料	共用使用料		
			団体	一般	中学生以下
上越市立上越体操場	体操場	10,000 円	2,500 円	610 円	310 円
	多目的室 1	570 円			
	多目的室 2	350 円			
	多目的室 3	350 円			
	会議室 1	290 円			
	会議室 2	350 円			
	会議室 3	230 円			
	ランニングコース			160 円	80 円

施設名		占用使用料	共用使用料		
			団体	一般	中学生以下
上越市立大潟体操アリーナ	体操場	7,030 円	2,370 円	510 円	260 円
	健康トレーニングコーナー ※中学生未満は使用不可			210 円	110 円

施設名		区 分	使用料（1 月につき）	
			一般	中学生以下
上越市立上越体操場	体操場	一般	2,440 円	1,220 円
	ランニングコース	一般	640 円	320 円
上越市立大潟体操アリーナ	体操場	一般	2,040 円	1,020 円
	健康トレーニングコーナー ※中学生未満は使用不可	一般	840 円	420 円

② 附属設備使用料

設備名		使用料			
		温水シャワー	照明設備	暖房設備	放送設備
上越市立上越体操場		110 円			
上越市立大潟体操アリーナ	体操場		720 円	2,040 円	110 円

3 上越市立上越体操場の愛称募集について

上越体操場を利用者や市民から親しみをもって使っていただけるよう、また、市外からの合宿などの利用促進につなげるため、愛称を募集している。

- ・応募期間 10月1日（火）から10月31日（木）まで
- ・応募資格 市民であればどなたでも応募可能（プロ・アマ、年齢等を問わない）
- ・決定公表 令和元年11月下旬（予定）

4 供用開始日とオープン記念式典及びイベントについて

供用開始日である令和2年1月26日に、オープン記念式典及び記念イベントの開催を予定している。

- ・内 容 テープカット
記念式典（式辞、来賓挨拶、利用者の喜びの言葉など）
記念イベント（地元ジュニア選手、ナショナル選手等による演技披露）
施設見学会（見学会、ドイツホストタウンPRブース）

5 今後のスケジュールについて

令和元年	11 月末	新築工事完了
	12 月～	検査引渡し、体操器具等備品搬入、供用開始準備
令和 2 年	1 月 26 日	供用開始、オープン記念式典及び記念イベント
	7 月	ドイツ体操チーム事前合宿
	7 月 24 日～8 月 9 日	東京 2020 オリンピック競技大会
	8 月 25 日～9 月 6 日	東京 2020 パラリンピック競技大会

新潟県立武道館新築工事の進捗状況について

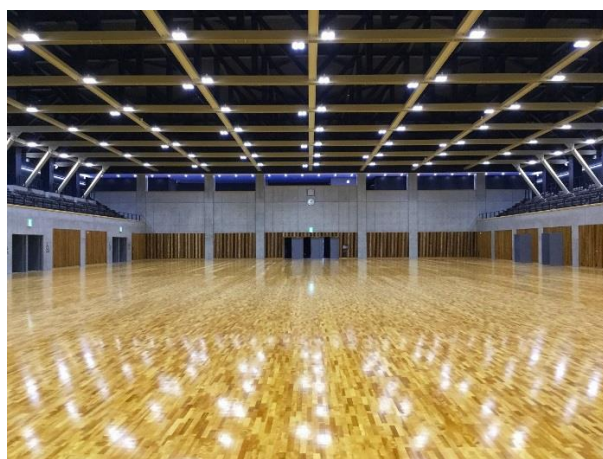
1 進捗状況と今後の予定

- ・ 本事業は、受注者が施設の設計及び施工を行った後、県に所有権を移転し、事業期間終了まで施設の維持管理・運営を行う方式
- ・ 平成 29 年 3 月に県と受注者（鹿島建設グループ 代表 鹿島建設(株)北陸支店）で契約を締結（契約額：9,031,770,908 円（税込））
- ・ 平成 30 年 3 月から本体工事に着手し、本年 9 月に竣工した。
- ・ 10 月 1 日に竣工修祓式を実施し、12 月 1 日（日）にオープンする。
- ・ 維持管理・運営は、(株)PFI 新潟県立武道館サービスで令和 16 年 3 月 末まで実施

【施設の状況】



外観



内観（大道場）

2 事業概要

(1) 施設

- ・ 所在地 上越市戸野目古新田 375（上越総合運動公園内）
- ・ 敷地面積 22,950 m²
- ・ 延床面積 13,035 m²
- ・ 主な施設 武道場（大道場、小道場、弓道場、相撲場）、諸室（会議室、研修室、トレーニング室、談話スペース、ギャラリー）、駐車場 300 台、駐輪場 263 台 など

(2) 運営

- ・ 開館時間 9：00～21：30（夏季の土日は 7：00 開館）
- ・ 休館日 毎週火曜日（祝日は開館）、12 月 29 日～1 月 1 日

令和元年度 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業の取組状況

1 ドイツパラリンピック柔道チームの合宿受入れについて

- (1) 合宿期間 平成 31 年 4 月 15 日 (月) から 22 日 (月)
- (2) 受入人数 13 人 (ドイツ柔道連盟役員 1 人、パラリンピック柔道選手 9 人、コーチ 2 人、理学療法士 1 人)
- (3) 合宿内容
- ①練習相手 パラリンピック柔道全日本ナショナルチーム、新潟県警など計 12 団体、125 人
- ②練習内容 1 日 2 回計 4 時間程度の乱取り等の練習 (会場：高田スポーツセンター)
- (4) 交流事業
市内柔道関係者のみならず、地元小学校をはじめとした市民との交流の機会を多く設け、交流を行った。
- (5) ドイツチームの感想
- ・練習、食事、市の対応、地域の人々の温かな歓迎等、全体を通して素晴らしい合宿だった。
 - ・多くの日本人柔道家が練習相手として参加していて、技の指導をしてもらうなど非常に良い練習を行うことができた。来年も上越市で合宿を行いたいと強く願っている。



▲子ども柔道家との乱取り



▲直江津南小学校児童との交流

2 ドイツパラリンピック柔道チームの事前合宿に関する覚書の締結について

- (1) 概要
平成 30 年 8 月及び平成 31 年 4 月に実施した合宿の結果を踏まえ、当市を事前合宿地とすることについて合意し、覚書を締結したもの。
- (2) 締結日 令和元年 8 月 13 日 (火)
- (3) 覚書の内容
- ①署名者
- ・ドイツ障害者スポーツ連盟競技スポーツ担当理事長 フランク・トーマス・ハルトレーブ
 - ・ドイツ柔道連盟青年委員長 ノルベルト・シュペッカー (立会人)
 - ・上越市長 村山秀幸
- ②内容 (概要)
- ・事前合宿実施にあたり、上越市所在の施設を利用すること。
 - ・事前合宿中に市が希望する交流プログラムに出来る限り参加すること。
 - ・市は、事前合宿を受入れるにあたり、日本国内における旅費や宿泊に係る費用の負担、施設の利用について、出来る限りの支援を行う。



▲覚書締結式の様子

3 上越市ホストタウンサポーターの募集について

- (1) 実施目的
- 一人でも多くの市民がオリンピック・パラリンピック、ドイツに関心を持ち、行動する、関わることを目指す。
 - ・サポーターが自らの希望する取組へ参加し、オリンピック・パラリンピックやドイツに触れ、体験することで市全体の盛り上がりをも高める。
 - ・大会開催時期にとどまらない国際交流や障害者支援の基礎的な風土を醸成する。
 - ・大会後も、継続的に合宿や大規模な大会受入れを「支える」体制を構築する。
- (2) 募集概要
- 募集期間
- ・令和元年 10 月 1 日 (火) から、広報上越のほか、市ホームページや上越市 NPO ボランティアセンターホームページで募集を行う。募集の終期は別途定める。
- (3) サポーター活動内容
- サポーターには、ホストタウンサポーター通信を配信 (送付)。当市のホストタウンとしての取組や、オリンピック・パラリンピックに関する情報提供を行う。
 - 更に深い取組を希望する場合は、市がその都度募集をかける取組に参加することができる。
 - ・ドイツチームが上越市で合宿を行う際の練習会場の準備、運営の補助や、市民との交流事業における補助
 - ・スポーツ分野に限らない様々な取組 (独自企画の提案も可能)
 - 例) 合宿時のドイツ選手への料理のふるまい、聖火リレールートクリーン作戦、東京五輪音頭 PR、こども記者倶楽部 など
- (4) サポーターへのインセンティブ
- ・ユニフォーム (ポロシャツ等) の支給 (活動に参加した人)
 - ・ドイツ選手の応援や交流会への優先的な参加

4 ドイツトランポリンチームの合宿受入れについて

- (1) 合宿期間 令和元年 11 月 19 日 (火) から 25 日 (月)
- ※11 月 28 日 (木) ~12 月 1 日 (日) に東京で開催される世界トランポリン競技選手権大会に出場予定。
- (2) 受入人数 最大 12 人 (チーム代表者 1 人、選手 7 人 (男子 4 人、女子 3 人)、コーチ 2 人、医師 1 人、理学療法士 1 人)
- (3) 練習会場 リージョンプラザ上越 インドアスタジアム
- (4) 練習等の日程

日程	予定	備考
11 月 19 日 (火)	フランクフルト → 東京 → 上越市へ	練習なし
20 日 (水) ~24 日 (日)	練習	
25 日 (月)	上越市 → 東京 (世界選手権大会会場へ)	

※合宿期間中の詳細な日程については、現在調整中。

施策7-1 生涯スポーツ活動の充実

□ **目標**

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等を中心として地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

後期実施計画（素案）※変更前

□ **成果指標**

評価内容	R2年度	R3年度	R4年度
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口	90%以上にする。	90%以上にする。	90%以上にする。
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数	26,400人以上にする。	26,500人以上にする。	26,600人以上にする。

□ **目標を達成するための事業等**

○スポーツ活動の普及推進

- ・ 幼児期からの運動習慣の形成を促し、子供が自ら運動に親しむ体力づくりプログラムを作成し、市内各地域に展開します。
- ・ ~~スポーツ少年団をはじめ、各種スポーツ団体が実施する各種教室等の開催を支援します。~~
地域スポーツの推進役であるスポーツ推進委員の支援を拡充し、体力測定会や出前講座、各種スポーツ教室を開催します。また、障害の有無によらずスポーツに親しむことができる機会の充実に取り組みます。
- ・ （仮称）上越市体操アリーナを活用して、子供向けのスポーツに対する意識啓発と体の使い方を覚える施設利用学習を実施するとともに、大人用の健康増進に向けたスポーツ活動の充実に取り組みます。

○スポーツ協会、各種スポーツ団体への支援

- ・ 市民が気軽に参加できる教室や大会などを開催する市スポーツ協会をはじめ、各種スポーツ団体を支援します。

○総合型地域スポーツクラブの育成及び支援

- ・ 地域のまちづくり団体や市スポーツ協会と連携し、総合型地域スポーツクラブの育成や活動の活性化を図ります。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの未設置地域でのクラブの創設を支援します。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの連携が一層進むよう活動を支援します。

後期実施計画（素案）※変更後

□ **成果指標**

評価内容	R2年度	R3年度	R4年度
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口	100%以上	100%以上	100%以上
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数	26,400人以上	26,500人以上	26,600人以上

□ **目標を達成するための事業等**

○スポーツ活動の普及推進

- ・ 幼児期からの運動習慣の形成を促すため、子どもが自ら運動に親しむ体力づくりプログラムを作成し、市内各地域に展開します。
- ・ 地域スポーツの推進役であるスポーツ推進委員と連携し、体力測定会や出前講座、各種スポーツ教室のほか、障害の有無によらずスポーツに親しむことができる機会の充実に取り組みます。
- ・ 上越市立上越体操場を活用して、子ども向けのスポーツに対する意識啓発と体の使い方を覚える施設利用学習を実施するとともに、市民の健康増進に向けたスポーツ活動の充実に取り組みます。
- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるドイツのホストタウンとして、体操及びパラリンピック柔道の事前合宿受入や交流事業を進め、市民がオリンピック・パラリンピックを身近に感じることで、スポーツに対する関心や体を動かすきっかけづくりをするるとともに、「上越市ホストタウンサポーター制度」への参加などを通じて、スポーツを「する・見る・支える」という機運の醸成に取り組みます。

○市スポーツ協会、各種スポーツ団体への支援

- ・ 市民が気軽に参加できる教室や大会などを開催する市スポーツ協会をはじめ、各種スポーツ団体が安定的に活動をしていくための支援をします。

○総合型地域スポーツクラブの育成及び支援

- ・ 地域のまちづくり団体や市スポーツ協会と連携し、総合型地域スポーツクラブの育成や活動を支援します。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの未設置地域でのクラブの創設を支援します。
未設置地域：大島区、牧区、吉川区、清里区、
旧上越市の北諏訪、高土、津有北部以外の地域
- ・ 各総合型地域スポーツクラブの連携が一層進むよう活動を支援します。

施策7-2 競技スポーツの発展

□ 目標

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

後期実施計画（素案）※変更前

□ 成果指標

評価内容	R2年度	R3年度	R4年度
中高生の北信越大会の出場者数及び出場率	出場者数 155人 出場率 1.4%以上 にする。	出場者数 155人 出場率 1.4%以上 にする。	出場者数 155人 出場率 1.4%以上 にする。
小・中高生の全国大会出場者数及び出場率	出場者数 120人 出場率 0.55%以上 にする。	出場者数 120人 出場率 0.55%以上 にする。	出場者数 120人 出場率 0.55%以上 にする。
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数	103人以上 にする。	103人以上 にする。	103人以上 にする。

□ 目標を達成するための事業等

○スポーツ競技力の向上及びアスリート育成強化事業の推進

- 市スポーツ協会が指定するジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技の6団体について、種目ごとに育成強化委員会を開催することとし、市スポーツ協会・行政・学校等が一堂に会して、課題解決や一貫指導方針について、きめ細かく協議することで、育成環境を整え、競技力の向上を図っていきます。
- スポーツ活動サポート事業、~~新潟県のエキスパート活用事業により、~~小・中学校の課外活動に専門的な技術指導ができる指導者を派遣することで、~~教職員の指導力の向上と（削除）~~児童・生徒の競技力の向上を目指します。
- 青少年から成人までのアスリート育成強化事業を推進し、オリンピックをはじめとする国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成強化を図ります。
- 国際大会や全国大会などに出場する当市に居住する優秀な選手等に対して、奨励金を交付し、市民の代表としての意識の高揚を目指します。

○ジュニア選手層の指導を中心とした指導者養成の推進

- 各種競技団体による指導者養成事業を支援し、ジュニア層の指導者の養成に取り組みます。
- 市スポーツ協会等と連携し、日本体育大学と締結した「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づき、競技指導者を招致し、指導者クリニックを行うなど、指導技術の向上に取り組みます。

後期実施計画（素案）※変更後

□ 成果指標

評価内容	R2年度	R3年度	R4年度
中高生の北信越大会の出場者数及び出場率	出場者数 155人以上 出場率 1.4%以上	出場者数 155人以上 出場率 1.4%以上	出場者数 155人以上 出場率 1.4%以上
小・中高生の全国大会出場者数及び出場率	出場者数 120人以上 出場率 0.55%以上	出場者数 120人以上 出場率 0.55%以上	出場者数 120人以上 出場率 0.55%以上
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数	103人以上	103人以上	103人以上

□ 目標を達成するための事業等

○スポーツ競技力の向上及びアスリート育成強化の推進

- 市スポーツ協会が指定するジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技6団体（体操、バレーボール、野球、陸上、山岳、スキー）と新潟県が指定する地域ジュニア競技（空手道）を主軸としながら、青少年から成人までのアスリートについて、オリンピックをはじめとする国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成強化に取り組みます。
- 小・中学校の課外活動に専門的な技術指導ができる指導者を派遣し、児童生徒の競技力の向上に取り組みます。
- 国際大会や全国大会などに出場する当市に居住する優秀な選手等に対して奨励金を交付し、市民の代表としての意識の高揚を目指します。
- 市スポーツ協会及び各競技団体と連携し、日本体育大学等から競技指導者を招致し、指導者クリニックを行うなど、指導技術の向上に取り組みます。

施策7-3 スポーツ環境の整備

□ 目標

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、安全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

後期実施計画（素案）※変更前

□ 成果指標

評価内容	R2年度	R3年度	R4年度
体育施設（体育館）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈H23～27 平均 22,951 人/施設〉	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。
体育施設（野球場）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈H23～27 平均 7,826 人/施設〉	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。
体育施設（多目的広場）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈H23～27 平均 5,958 人/施設〉	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。
体育施設（テニスコート）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈H23～27 平均 6,370 人/施設〉	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。	H23～27 平均実績の利用者数を 上回る。

□ 目標を達成するための事業等

○体育施設の安全性や快適性の確保

- ・施設の老朽化が年々進んでいくことから、安全性を第一に優先順位を付け、計画的な修繕に取り組みます。
- ・施設のグレードに基づき、大会や合宿が開催できる拠点施設から優先的に設備や備品の修繕など、機能維持に取り組みます。
- ・インターネット予約による施設情報の発信や申請方法の簡素化、定期利用団体の年間施設予約を実施するなど、利便性の向上に取り組みます。

○体育施設の再配置の推進

- ・安全かつ快適なスポーツ環境を維持していくため、体育施設の再配置計画を策定し、計画的に統廃合を進めます。

~~○拠点施設・専門施設の整備~~

- ~~・市民ニーズやトップアスリートの育成強化を図るため、スポーツ環境の充実に取り組みます。~~

後期実施計画（素案）※変更後

□ 成果指標

評価内容	R2年度	R3年度	R4年度
体育施設（体育館）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H26～30 平均 24,320 人/施設〉	H26～30 平均実績の利用者数 以上	H27～R1 平均実績の利用者数 以上	H28～R2 平均実績の利用者数 以上
体育施設（野球場）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H26～30 平均 7,356 人/施設〉	H26～30 平均実績の利用者数 以上	H27～R1 平均実績の利用者数 以上	H28～R2 平均実績の利用者数 以上
体育施設（多目的広場）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H26～30 平均 5,930 人/施設〉	H26～30 平均実績の利用者数 以上	H27～R1 平均実績の利用者数 以上	H28～R2 平均実績の利用者数 以上
体育施設（テニスコート）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H26～30 平均 5,406 人/施設〉	H26～30 平均実績の利用者数 以上	H27～R1 平均実績の利用者数 以上	H28～R2 平均実績の利用者数 以上

□ 目標を達成するための事業等

○体育施設の安全性や快適性の確保

- ・施設の老朽化が年々進んでいくことから、安全性を第一に優先順位を付け、計画的な修繕に取り組みます。
- ・施設のグレードに基づき、大会や合宿が開催できる拠点施設から優先的に設備や備品の**機能維持に取り組みます。**
- ・インターネット予約による施設情報の発信や申請方法の簡素化、定期利用団体の年間施設予約を実施するなど、利便性の向上に取り組みます。

○体育施設の適正配置の推進

- ・利用状況や将来の人口減少などを踏まえ、体育施設の適正配置計画を策定し、計画的な統廃合、整備を行います。

令和 2 年度予算の考え方について（施策 1：生涯スポーツ活動の充実）

□ 目標

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等を中心として地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

□ 成果指標

評価内容	令和元年度 目標値	令和元年度 実績値見込み	令和 2 年度 目標値
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市体協、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口	90%以上にする。	109%	100%
市内の総合型地域スポーツクラブ、市体協に所属する会員数	26,300人以上にする。	27,358人	26,400人

令和 2 年度の予算編成に向けた課題認識について

（地域のスポーツ活動の充実）

- 総合型地域スポーツクラブがない牧、清里、吉川のまちづくり団体等に聞き取りを行った結果、少子高齢化と人口減少の影響から、恒例行事であったスポーツイベントを止めざるを得ないなど、年々、地域でスポーツに親しむ機会を失いつつあるとの声があったことから、スポーツ活動の維持・充実を図るため、まちづくり団体と連携し、地域に相応しい活動母体を確立するとともに、意欲のある人材の把握・育成を行う必要がある。
- その際は、「スポーツを切り口とした地域課題の解消やまちづくり」という視点に立つとともに、地域におけるスポーツに関するニーズを充分把握した中で、福祉や公民館事業等との連携、スポーツ推進委員やスポーツボランティアのサポート、周辺地域との連携など、将来的にも持続可能な取組を検討する必要がある。

（多様なスポーツの機会の提供）

- 平成 30 年度上越市スポーツ推進審議会において、市内で活動している各種団体がそれぞれの弱みをフォローし合いながら、様々な面で協働し、障害者スポーツや生涯スポーツの理解の促進を図るべきとの意見があったことを踏まえ、互いの活動や現状を知り、連携して取り組めるような仕組みづくりが必要である。
- 上越市立上越体操場を活用し、スポーツが持つ「健康増進」や「体力維持」などの効果を生かせるよう、市の健康づくり推進課や上越教育大学などと連携しながら、市民の運動機会の増加や余暇活動の充実を図る必要がある。
- 市全体のスポーツイベント（えちご・くびき野 100 km マラソン、高田城ロードレース大会、ファミリー綱引き大会など）や地域のスポーツ大会や教室などの円滑な運営をサポートするため、スポーツ推進委員やスポーツボランティアの活用を周知していく必要がある。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年に当たり、ホストタウンとしての事前合宿受入や交流事業を進めるとともに、聖火リレー等のオリンピック・パラリンピック関連事業を実施することで、市民がオリンピック・パラリンピックを身近に感じ、スポーツを「する・見る・支える」という機運の醸成につなげる必要がある。

令和 2 年度予算の考え方について（施策 2：競技スポーツの発展）

□ 目標

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020 年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

□ 成果指標と達成状況見込み

評価内容	令和元年度 目標値	令和元年度 達成状況見込み	令和 2 年度 目標値
中高生の北信越大会の出場者数及び 出場率	出場者数 155 人 出場率 1.4%以上 にする。	255 人	出場者数 155 人以上 出場率 1.4%以上
小・中高生の全国大会出場者数及び 出場率	出場者数 120 人 出場率 0.55%以上 にする。	211 人	出場者数 120 人以上 出場率 0.55%以上
ジュニアトップアスリート育成強化 事業指定競技種目における全国大会 出場者数	103 人以上にす る。	111 人	103 人以上

令和 2 年度の予算編成に向けた課題認識について

（競技力の向上）

- 市スポーツ協会のジュニアトップアスリート育成強化指定競技（体操、バレーボール、野球、陸上、山岳、スキー）や県指定競技（空手道）について、市スポーツ協会・行政・学校等が一堂に会して、一貫指導方針に基づく情報の共有や課題解決に向けた協議を引き続き行う必要がある。
- ジュニア層のスポーツ教室や選手強化等を計画的に実施し、各種目の競技人口の拡大及び選手の育成を図るとともに、指導者の資質や技術の向上を目指した講習を引き続き支援していく必要がある。
- 日本体育大学から各競技の専門指導者を招き、最新の知識やノウハウに基づく合同練習会や指導者クリニックを開催するなど、選手や指導者の更なるレベルアップを図る必要がある。
- 国際大会や全国大会に出場する優秀な選手・団体に対して、地元自治体からのエールとして引き続き奨励金を交付し、市民のスポーツに対する意識の高揚を促していく必要がある。
- 市内で開催されるスポーツ大会・イベント、国際大会や全国大会等で活躍する優秀選手の情報などを市民に発信し、スポーツに対する市民意識の高揚を図っていく必要がある。

令和 2 年度予算の考え方について（施策 3：スポーツ環境の整備）

□ 目標

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、安全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

□ 成果指標

評価内容	令和元年度 目標値	令和元年度 実績値見込み	令和 2 年度 目標値
体育施設（体育館）の 1 施設当たりの年間延べ利用者数 ＜H23～27 平均 22,951 人/施設＞	H23～27 平均実績の利用者数を上回る。	25,525 人/施設	H26～30 平均実績の利用者数以上
体育施設（野球場）の 1 施設当たりの年間延べ利用者数 ＜H23～27 平均＞7,826 人/施設＞	H23～27 平均実績の利用者数を上回る。	7,637 人/施設	H26～30 平均実績の利用者数以上
体育施設（多目的広場）の 1 施設当たりの年間延べ利用者数 ＜H23～27 平均 5,958 人/施設＞	H23～27 平均実績の利用者数を上回る。	6,903 人/施設	H26～30 平均実績の利用者数以上
体育施設（テニスコート）の 1 施設当たりの年間延べ利用者数 ＜H23～27 平均 6,370 人/施設＞	H23～27 平均実績の利用者数を上回る。	7,006 人/施設	H26～30 平均実績の利用者数以上

令和 2 年度の予算編成に向けた課題認識について

（体育施設の安全性や快適性の確保）

- ・ 施設の老朽化が年々進んでいくことから、安全性を第一に優先順位を付け、計画的な修繕に取り組む必要がある。

（体育施設の適正配置の推進）

- ・ 利用状況や将来の人口減少などを踏まえ、体育施設の統廃合、整備などに関する計画を策定し、取り組んでいく必要がある。